

事後評価箇所選定理由書及び評価軸調書

【事業名、地区名、事業概要】

事業名：環境防災林整備事業
箇所名：白川地区
事業の概要
工期：平成12年度～平成15年度
事業費：52,644千円
事業内容：治山ダム 2個
 流路工 26.13m
 森林整備 1.26ha

【評価箇所選定理由】

本地区は、昭和56年から昭和58年にかけて整備された生活環境保全林内に位置する。このため、整備後の経年経過による保全林内の環境の変化への対応や維持管理の在り方について本地区を検証し、今後の施策に反映するため、今回事業評価の対象とした。

【評価軸】

トータルデザイン（プラン）

本地区は、流水により溪岸、溪床が浸食を受け荒廃した溪流や、過密化した林分のため下層植生が乏しく一部表土の流出が発生していた。

本事業では、山地災害の防止等と併せて生活環境を保全・形成するため、荒廃溪流の浸食拡大や不安定土砂の移動防止のため、治山ダム・流路工の防災施設の整備と併せ、森林の造成改良整備を行った。

この結果、治山ダム等により溪流の安定が図られるとともに、森林整備により下層植生が繁茂し表土の流出が抑制され、防災機能や水源かん養機能、保健休養機能が向上された。

また、森林とダム湖による自然の調和が図られ、保全林を訪れる人々に癒しの空間を提供するとともに、森林・環境保全に対する意識の向上に寄与している。

維持管理のあり方

県が実施した治山ダム等の防災施設については、県が施設台帳を整備し、維持管理を行っている。

また、森林は町有林であり、有田町によって管理されている。

しかしながら、今後は、地域住民や地元企業等との協働意識の向上を図り、官民が連携・協力して管理を行っていく必要がある。

地域住民との関わりについて

保全林内には、キャンプ場や林間広場、有田町とドイツのマイセン市との姉妹都市交流を記念して整備された「マイセンの森」などがあり、多くの人々が訪れている。

また、緑の少年団や小・中学校などの野外レクリエーションの場や学習・教育の場として活用されている。

今後も地域住民などが、森林に入り込み自然と親しみながら、身体や心の健康づくりに役立てることを期待するものである。